

[記入例]

様式第 42（第 62 条の 5 の 2 関係）

休止中の地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの漏れの点検期間延長申請書

当該危険物施設を管理・使用している代表者の住所・氏名を記入する。申請者が法人の場合は、名称・代表者氏名及び事務所の所在地を記入する。		〇〇年〇〇月〇〇日	
(宛先) 野田市長		申請者	
住所		野田市宮崎 126 番地の 2 (電話 04-7124-0119)	
氏名		株式会社消防 代表取締役 消防 太郎	
設置者	住所	野田市宮崎 126 番地の 2 電話 04-7124-0119	
	氏名	株式会社消防 代表取締役 消防 太郎	
設置場所		野田市宮崎 126 番地の 2	
製造所等の別		貯蔵所	貯蔵所又は取扱所の区分 地下タンク貯蔵所
設置の許可年月日及び許可番号		年 月 日	第 号
設置の完成検査年月日及び検査番号		年 月 日	第 号
タンクの種類		鋼製一重殻	対象となる地下貯蔵タンク又は二重殻タンク 別添図面のとおり
当該地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの設置時の完成検査期日			
危険物の漏れを覚知しその漏えい拡散を防止するための措置の有無		①告示第 71 条第 4 項第 1 号イ又はロに掲げる措置 (有・無) ②告示第 71 条第 4 項第 2 号に掲げる措置 (有・無) ③平成 15 年総務省令第 143 号附則第 3 項に掲げる措置 (有・無)	
直近の漏れの点検を行った年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	
期間延長後の漏れの点検予定期日		使用を再開する日の前日までに実施	
その他参考となる事項		・当該タンク内の危険物を全て除去するとともに、内部洗浄済み ・注入口（蓋）の施錠及び休止中である旨の表示	
※受付欄		備考	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
- 3 告示は、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示（昭和 49 年自治省告示第 99 号）とすること。
- 4 ※印の欄は記入しないこと。

〔記入例〕

①、②、③については以下のとおりです。

① タンク室その他漏れた危険物の流出を防止するための区画内に設けられている漏えい検査管で、1週間に1回以上危険物の漏れを確認していること。かつ危険物の貯蔵・取扱数量の100分の1以上の精度で在庫管理を行っていれば **有**

② タンク室その他漏れた危険物の流出を防止するための区画が地下貯蔵タンクの周囲に設けられていれば **有**（地下貯蔵タンクが直接埋設されていると **無** だが、流出防止対策により内面コーティングを実施したものは **有**）

③ 電気防食等の措置が講じられていて、漏えい検査管により1週間に1回以上危険物の漏れを確認していれば **有**

電気防食等の措置が講じられていない場合は、下記事項を行っていれば **有**

1、漏えい検査管により1週間に1回以上危険物の漏れを確認している。

2、貯蔵又は取扱数量の100分の1以上の精度で在庫管理を行う。

3、所有者等は、危険物の在庫管理に従事する者に対し危険物の管理・教育、漏れた場合の措置、その他必要な事項の計画を定め市町村長等に届け出る。